

平成 20 年度 博士前期課程学位論文要旨

学位論文題名（注：学位論文題名が欧文の場合は和訳をつけること）

調理活動から見た統合失調症者の遂行機能に関する研究

—補助教材としてのクッキングカードの有効性について—

本研究の目的は、統合失調症者を対象にクッキングカードが調理活動に及ぼす影響について検討することである。対象者は 67 歳以下で、クロルプロマジン換算で 1000mg/日以下、WAIS-R で 80 点以上などの条件を満たす統合失調症者 9 名に対し 2 回の調理活動を実施した。調理活動の所要時間、対象者からの質問回数、研究者の介入回数、エラー数を記録し分析した。

その結果、クッキングカードの使用によりエラー数を有意に減らすことが示され、手順の間違いを認識し、行動の修正を促す傾向が示唆された。また、調理経験の有無によって 2 群に分け、分析を行った結果、未経験者がクッキングカードを使用した時と使用しなかった時を比較すると、使用時にエラー数を減らす傾向が認められた。クッキングカードは未経験者に対して調理活動を補助する教材として有効であると示唆された。

学位の種類： 修士（作業療法学）

人間健康科学研究科 博士前期課程 人間健康科学専攻 作業療法科学系

学修番号：06896605

氏 名：野際陽子

（指導教員名：里村恵子）

注：1,000 字程度（欧文の場合 300 ワード程度）で、本様式 1 枚（A 4 版）に収めること